

ポリシーブック 2018



JA兵庫六甲 西神戸農業経営者協議会

JA兵庫六甲 三田地域青壮年部

JA兵庫南青壮年部

JAたじま青壮年部

JA丹波ささやま青年部

兵庫県農協青壮年部協議会

— 目 次 —

ポリシーブック 2018

組 織 名

J A 兵庫六甲 西神戸農業経営者協議会

J A 兵庫六甲 三田地域青壮年部

J A 兵庫南青壮年部

J A たじま青壮年部

J A 丹波ささやま青年部

J A 兵庫六甲 西神戸農業経営者協議会

【課題】 都市部、都市近郊地域での持続可能な営農について

【課題】 都市部、都市近郊地域での持続可能な営農について

(1) 課題

- ・都市近郊の農業で、住宅や学校、通学路などに隣接しており、**近隣に配慮しての営農が必要である。**
- ・道路沿いの田畑にゴミを捨てられる。
- ・都市近郊だが、獣害が発生している。
- ・人手不足である。
- ・パイプラインの老朽化、水道水での営農活動を行っている地区がある。

(2) 解決策

1) 個人、西神戸農業経営者協議会としての取り組み

- ・早朝、夜間には騒音が発生する作業は避け、登下校時には農薬の散布作業を行わないようにする。
- ・**捨てられた**ゴミをこまめに回収し、圃場周辺の**美化維持**に努める。
- ・餌になるようなものを周りに捨てない。防鳥糸や柵を積極的に使う。
- ・食農教育活動を通じて農業について情報発信を行う。(堆肥、水、藁焼き、農村・農業の役割について)

2) JA兵庫六甲と一体となった取り組み

- ・都市部の住人を対象にしたツアーなどを積極的に開催し、都市部住民への理解促進を**図ります**。
- ・食農教育活動を通じて農業について情報発信を**行います**。(個人だけでなく地元企業などにも)
- ・地域環境を守る活動を行政と連携して**行います**。
- ・地域の実情に合った栽培技術の周知を**図ります**。
- ・無料職業紹介事業のさらなる強化に**取り組みます**。
- ・既存農家への補助事業や補修の取りまとめによる低価格化などの事業に**取り組みます**。

3) 行政に提案・要請すること

- ・都市部住民へ、都市農業の重要性を周知するよう要請します。
- ・ゴミの不法投棄やポイ捨てなどへの取り締まり強化と厳罰化を要請します。
- ・イノシシやアライグマだけでなく、カラスやヒヨドリ等も重大な被害をもたらすため、小動物への対処を要請します。(密度低減の為に、積極的駆除を要望)
- ・圃場整備、農業用水路、パイプラインの埋設を要請します。
- ・ため池の維持管理作業の一部負担を要請します。
- ・施設修繕の事業を要請します。
- ・農作業ボランティアの関係について、さらなる周知と取組拡大を要請します。

J A 兵庫六甲 三田地域青壮年部

【課題】 新規就農者の確保について

【課題】 新規就農者の確保について

(1) 課題

- ・新規就農支援対策がうまく機能していない。
- ・新規参入、新規就農者は技術的にも経済的にも不安定である。
- ・地元の後継者が農業を継がない。就農に踏み切れない。

(2) 解決策

1) 個人、三田地域青壮年部としての取り組み

- ・新規就農者の不安に思っていることを聞く機会を設ける。
- ・新規就農希望者に、自分たちの取り組む農業を紹介する機会を設ける。
- ・三田地域の農業に魅力があるという PR 活動を行っていく。

2) JA兵庫六甲と一体となった取り組み

- ・三田地域への新規就農希望者の情報共有を行う。
- ・新規就農者に対しての準備資金制度の斡旋を拡充する。
- ・栽培品目提案や技術の習得、販売、経営方法等、新規就農者に対しては優先的な指導を実施する。

3) 行政に提案・要請すること

- ・新規就農の手引き等の情報もあると思うが、その情報を新規就農者が見つけられるまでに、様々な所に問い合わせる等、かなりの労力を割く傾向がある。Yes/No チャートなどを用いてスムーズに手続きができる仕組みの構築を要請します。
- ・行政単位で区切るのではなく、新規就農者の為の「新規就農支援センター」のような総合窓口を開設して、もっと一般の方に知ってもらえるような PR をしたり、気軽に問合せ出来るよう要請します。また、どのような就農希望者が訪問してきたか、ニーズはどんなものであるか等の情報を、体系的に JA や青壮年部に提供していく仕組み作りの構築を要請します。

J A 兵庫南青壮年部

【課題】 農業の労働力対策について

【課題】 農業の労働力対策について

(1) 課題

- ・高齡化や規模拡大に伴い、労働力不足が深刻化している。
- ・新規就農者の多くは、個人（一人）で仕事をしているケースがあり、労働力が不足している。

(2) 解決策

1) 個人、JA兵庫南青壮年部としての取り組み

- ・雇用に対する勉強会等に取り組む。
- ・農業と福祉が連携する事業（農福連携事業）に取り組む。
- ・消費者交流を行い、青壮年部の活動や生産現場を紹介し、援農ボランティアを募集する。

2) JA兵庫南と一体となった取り組み

- ・農福連携マルシェを実施し、農業者と障がい者との交流を図る。
- ・JAの無料職業紹介や援農ボランティアの登録を行い、活用する。
- ・外国人技能実習生の受入れ窓口の開設を検討する。

3) 行政に提案・要請すること

- ・農福連携事業の積極的な推進を要請します。
- ・外国人技能実習生に関する情報提供を要請します。

J A たじま青壮年部

【課題】

農業に関わる事務様式の統一と関係機関の情報共有について

【課題】 農業に関わる事務様式の統一と関係機関の情報共有について

(1) 課題

- ・行政やJAから毎年送付されてくる事務書類に対して同様の内容（圃場の地番や面積等）をそれぞれ記入する必要があり、書類作成にかかる時間が経営上の負担となっている。

(2) 解決策

1) 個人、JAたじま青壮年部としての取り組み

- ・クラウドを利用した圃場・栽培管理システム等の研修会を行い、必要な情報をいつでも素早く取り出せる環境を作る。

2) JAたじまと一体となった取り組み

- ・県や市と一体となって事務書類の統一を行う。例えば細目書のデータにJAとの契約栽培の情報を取込み、圃場データ・面積等の確認を行う。
- ・JAが必要とする情報を行政に作成を要請する統一様式に入れてもらうよう依頼する。
- ・本店、各支店、営農センターが横の連携をとり、情報の共有を図る。
(各々の部署が同じような内容の書類を何回も送らない。)

3) 行政に提案・要請すること

- ・農業経営に関する情報（就農年、圃場情報、栽培品目、認定農業者等の認定の有無等）を一括で管理できるシステム、体制の整備を要請します。(国)
- ・JA等関係機関と連携し、統一の様式の作成を要請します。(県・市)
- ・補助制度の申込み等の際に行政が集めた情報を印字し生産者の記入欄を少しでも減らすことを要請します。(県・市)
- ・各部署、課が横の連携をとり、情報共有を図ることを要請します。
(各々の部署が同じような内容の書類を何回も送らない。)

J A 丹波ささやま青年部

【課題】 鳥獣害対策について

【課題】 鳥獣害対策について

(1) 課題

- ・地域で取り組むこと、農家で取り組むことの線引きがあいまいである。
- ・山にエサが少ないので平地に降りてくる。
- ・ジビエに活用する利用方法が不明確である。
- ・鳥獣害被害に対する収入補填制度で、被害の確認を行う担当者によって被害状況の認定に差がある。

(2) 解決策

1) 個人、JA丹波ささやま青年部としての取り組み

- ・鳥獣害対策を徹底する。
- ・鳥獣害が激しい地域では営農しない。
- ・猟友会と連携し、農業者からの協賛金を出してもらうようにする等して**猟師**を支援する。

2) JA丹波ささやまと一体となった取り組み

- ・鳥獣害に対する**注意喚起**を行う。
- ・海外からジビエ駆除対策などのノウハウを学ぶ機会を**検討**する。
- ・鳥獣害対象動物を殺すとかawaiiそうと思うイメージ（苦肉の策で殺している）の**払拭**に取り組む。

3) 行政に提案・要請すること

- ・農業共済の鳥獣害支援のハードル（年**10**回の草刈りが必要等の項目）を下げるよう**要請**します。
- ・猟友会のメンバーが儲かる仕組みを構築し、**一斉駆除の実施**など積極的な駆除を**要請**します。
- ・ワイヤーメッシュ、電気柵等の設置費用の補助拡充を**要請**します。
- ・鳥獣害被害に対する収入補填制度について、被害状況の認定基準の統一と内容の**充実**を**要請**します。
- ・鳥獣害対象動物を殺すとかawaiiそうと思うイメージ（苦肉の策で殺している）の**払拭**を**要請**します。